

月刊 まち・コミ 2008年11月号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>



● 今月の注目記事 ● P 1～P 5 「御蔵 まちづくりの歩み 2004年7月～2006年12月」



御蔵 まちづくりの歩み — 2004年7月～2006年12月 —

おかげさまで、まち・コミを新しく応援して下さる方も多くなりました。そこで、まち・コミの活動と御蔵地区を年表と写真で振り返ってみました。書ききれないほど皆様に応援を頂いています。ほんとうにありがとうございます。

まちでどう" 交わりの豊かさ" を得、どう楽しむかを目標に取り組んできました。11月号(2004年7月～2006年12月)、12月号(2007年1月～2008年3月)で報告させていただきます。

過去の記録に関しては、2004年6月号(2002年1月～2004年6月)、2002年2月号(1995年1月～2001年12月)に、掲載しています。WEBまち・コミでも見られます。

現在の記録は、まち・コミブログ(<http://machicomi.blog42.fc2.com/>)にも掲載しています。どうぞ合わせてご覧ください。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 04年 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | | | | |
| | 31 | 3 | 5 | 11 | 13 | 14 | 18 | 18 | 21 | 26 | 31 | 6 | 7 | 7 | 10 | 14 | 15 | 20 | 7 | 13 | 16 | 25 | 27 | 27 | 29 | 3 | 7 | 12 | 18 | 26 | 26 | 26 | 28 | 9 | 14 | 19 | 23 | 25 | 26 |

台日交流古民家移築事業打合せ
 自治会館でクリスマスコンサート(李浩麗氏)
 豊岡市出石町鳥居地区ニーズ調査
 御蔵焼(陶芸)教室
 事業用仮設住宅活用の署名を区役所に提出
 意向調査確認作業
 大津市防火協会講演
 新潟県小千谷町支援(28日)
 大飯古民家解体木材運搬(28日)
 山形県立酒田商業高校
 人間サイズのまちづくり賞受賞式出席
 東大阪まちづくり会所打合せ
 新潟県川口町等へ(新潟県中越地震)9
 豊岡市出石町鳥居地区へ泥かき(台風23号)
 東大阪まちづくり会所(東大阪市)
 旭丘中学受入
 神戸大学 ボラセン講演会
 台日交流古民家移築事業打合せ(台湾)29
 御蔵文化広場開催(11/3)
 小野南中修学旅行受入
 富山大付属小修学旅行受入
 敬老のお祝い(赤飯)
 復興誌打合せ
 JICAインドネシア視察受入
 大飯古民家解体おつかれさま会(御蔵)
 明海・明星大合同懇親会
 明星大学 渡戸ゼミ来訪
 明海大学 田中ゼミ受入(8日)
 丸亀市役所講演
 徳島市高校PTAワールドワーク受入
 古民家集会所 子どもお泊まり会(22日)
 大教大メンバーヒアリング調査受入(数日)
 さいたまNPOメンバー受入
 大阪教育大学共同住宅調査票回収作業打合せ
 コンサート・そばめし隊交流
 大飯古民家解体完了祝い・移築成功祈念
 事業用仮設住宅利用打合せ
 台湾教育部政務次長 股辦事・服部氏受入
 第10回河内首領盆踊り大会
 海南市青年会議所 子ども震災学習受入



▲04年7月31日海南青年会議所受入



▲04年11月3日出石復旧作業ボランティア

◆04年7月~10月◆

7月下旬から8月中旬の4週間にわたって、福井県大飯町岡田にある民家の解体に取り組みました。御蔵の古民家集会所の時と同様、神戸近辺の学校の学生や御蔵住民のボランティアが大勢参加しました。台湾からも建築家や映画監督らが参加していたため、日本語や英語、中国語によってコミュニケーションを取りながらの作業となりました。(月刊まち・コミ2005年7・8月号)

また、10月16日からは「御蔵文化広場」を開催し、御蔵の空き地を活用して芸術作品を展示する「空いてる地球展」(2003年度も開催)、古民家集会所の内蔵に絵手紙や陶芸作品を展示する「蔵画廊展示会」、御蔵の土を使った陶芸に挑戦する「御蔵創作塾」などを、NPO法人リ・フォープにご協力いただき、実現しました。(空いてる地球展の報告は03年9月号)

◆04年11月~12月◆

10月には新潟県中越地震と台風23号、大災害が2件起きました。まち・コミスタッフは復旧ボランティアではないが、少しでも役に立ちたいと、それぞれ被災地に向かいました。台風23号で出石川が決壊するという被害を受けた豊岡市出石町鳥居地区に泥かきボランティアに入り、当時区長であり、現在まち・コミが行っている出石市民農園活動において農業のご指導をくださっている廣井昌利さんに出会いました。(05年11月号)

御蔵通5・6・7丁目づくり協議会と合同で「第6回人間サイズのまちづくり賞 まちづくり活動部門」を兵庫県からいただきました。公園設計や維持管理、古民家集会所の建設、修学旅行生への震災体験を伝える語り部活動等、これまでの御蔵の取り組み全般が表彰されました。

御蔵通6丁目にある事業用仮設住宅活用(地主さんにご協力いただき福祉事業で再活用)を巡って、地域内で意見の対立があり、住民に意向調査をし、区役所に提出したのがこの時期です。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|---|---|---|---|---|----|----|----|
| 【05年】 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | |
| | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / |
| | 2 | 8 | 11 | 15 | 16 | 17 | 19 | 22 | 27 | 14 | 23 | 25 | 26 | 27 | 28 | 6 | 11 | 19 | 20 | 21 | 25 | 24 | 26 | 26 | 27 | 30 | 3 | 22 | 25 | 29 | 5 | 9 | 1 | 2 | 6 | 10 | 17 | 23 |

東京経済大学シンボパネラー出演「阪神・淡路大震災以降の都市再生と協働の仕組みの課題 95年震災後10年の復興過程に学ぶ」
 出石市民農園収穫祭
 第2回御蔵百聞くらぶ（鉄砲光丸さん）
 羽村第三中学修学旅行受入
 まち・コミ感謝祭
 スタジオ5解体（2001年6月号参照）
 加古川山手中学校研修受入
 唱歌の会開催（李浩麗氏）
 神戸市まち協10周年イベント
 「炊き出し体験会として絆」参加
 名古屋市立日比野中学修学旅行受入
 高知県大津小学校修学旅行受入
 奈良県明日香村交流
 関西学院災害復興制度研究所研修受入
 鳥取県青谷中学校修学旅行受入
 台日交流古民家移築事業打合せ（台湾）30
 静岡市立袋井中学受入
 第1回御蔵百聞くらぶ（唐十郎さん）
 出石市民農園（初作業 ジャがいも植付け）
 石川県津幡町役場青年部研修受入
 第16回御蔵学校開催「コーディネートの可能性と外部支援者の役割とは」
 東大阪まちづくり会所 まちの縁側幻灯会
 北海道社協講演・ニセコ町調査（12日）
 出石市民農園あぜ道泥とり
 滋賀県立大学建築学生研修受入
 唱歌の会開催（李浩麗氏）
 出石鳥居地区市民農園ヒアリング調査
 東大阪まちづくり会所勉強会
 神戸大学学生震災救援隊研修受入
 事業用仮設住宅解体開始
 「百聞くらぶ」文化講演会相談（橋本正樹氏）
 東大阪まちづくり会所 お披露目会
 韓国九分がら受入
 台湾以友高校研修受入
 慰霊法要
 御蔵大集会
 絵手紙展（22）
 第15回御蔵学校開催「震災10年をむかえ改めて感じる人とまちの大切さ」
 台日交流古民家移築事業打合せ（台湾）6



▲ 05年1月22日まちづくり会所お披露目会



▲ 05年6月30日スタジオ5解体前

◆ 05年1月～3月 ◆

1月に曹洞宗僧侶の藤井隆英さんの呼びかけで「御蔵大集会」が行われました。震災当時のボランティアを中心に御蔵にお越しくださり、新たなつながりも生まれました。神戸、東京、新潟、三宅島のインターネット四元中継も行われました。

2月中旬には、事業用仮設住宅が解体されました。お年寄りにやさしい町を作っていきたいという思いがどうして届かないのか、思い悩んだ時期でした。（04年9月号、05年2月号参照）

震災10年で薄れてきた人と人の助け合いの大切さを再認識するため、出石町鳥居地区の廣井昌利さんを講師として御蔵学校を開催しました。そこから、市民農園支援活動へと発展していき、2月ヒアリングをし、3月には実際に復興のため畑作業に取り組みました。（05年1月号参照）

大阪府東大阪市若江岩田地区で、まちづくり会所事業に取り組みはじめ、一月には、地域の人たちを知っていただくため、講演会と歌手の李浩麗さんによるコンサートを開催しました。

◆ 05年4月～7月 ◆

震災後毎年恒例の河内音頭でお世話になっているプロデューサーの橋本正樹さんからのご提案をいただき、古民家集会所に文化人をゲストに招いて講演会を行う「御蔵百聞くらぶ（第一回）」が4月に行われました。会場に入りきれないほど多くの方がお越しくださいました。第8回まで行われました。

5月に兵庫区の湊川公園で行われた、神戸市まち協連合会の10周年イベント「炊き出し体験会・そして絆」では、ご婦人方と共に長田名物のチヂミと、出石の支援も呼びかけたいと出石名物の出石そばを振る舞い大好評でした。

まち・コミの各事業は、それぞれに興味を持ってくださったボランティアさんに支えられておりますが、事業を越えての交流の場をつくらうと、7月には「まち・コミ感謝の集い」を企画し、大勢の関係者のみなさまにお越しいただき、活動の報告をさせていただくと共に、ご意見をいただきました。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|--|--|--|--|
| 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | | | | | | |
| / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | | | | |
| 2 | 3 | 9 | 31 | 19 | 6 | 17 | 18 | 18 | 20 | 25 | 13 | 21 | 21 | 22 | 27 | 28 | 29 | 30 | 3 | 8 | 11 | 18 | 28 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター「まちづくりと学生」講演
- 蔡淡水 鎮長 古民家移築状況説明会(御蔵)
- 「防災と食料を考えるフォーラム」(こはんを食べよう)国民運動大会の兵庫 パネラー出演
- まちづくり会所講演会と近畿大生作品展開催
- 第3回御蔵百聞くらぶ(岩田健三郎)
- 北沢3・4・5丁目地区 地域復興まちづくり模範訓練報告会 パネラー出演
- 台湾九分まちづくり視察団受入
- ろつそく法要
- 慰霊法要
- 東京・三宅 御蔵インターネット中継参加
- 東大阪自治会長打合せ
- 東大阪役所打合せ(住宅政策・危機管理室)
- 台日交流古民家移築事業 窪島誠一郎氏訪問
- 沖縄県まちなか研究所わくわく受入
- 23 兵庫商会新社屋へ引越越し昼食準備
- 唱歌の会
- 古民家木材淡水鎮の倉庫に移動
- 仮設市街地講演(東京)
- 古民家木材船出航 台湾基隆港12/3到着
- JICAインドネシア研修受入
- 人と防災未来センター ポランティア研修受入
- 大阪十三フレンドリー商店街出石野菜販売
- 台湾への古民家木材神戸税関検査
- JICA中南米研修受入
- JICAイラク研修受入
- 神戸大学六甲祭実行委員会講演「震災をきっかけに生まれたものについて」ひと人のちから」でできたこと」
- 安全安心のワークショップ御蔵まち歩き受入
- 徳島県三加茂町研修受入
- 小野市立旭丘中学校震災学習受入
- 兵庫県加東郡教育委員会講演
- JICA研修受入
- 福島県立福島西高等学校修学旅行受入
- 徳島県神山町教育委員会人権大学県外研修受入
- 東京都稲城市立稲城第六中学受入
- 台日交流古民家移築事業水上藤子氏打合せ
- 台日交流古民家移築事業打合せ(台湾)
- 財団法人兵庫県職員互助会講演「地域社会における防災とボランティア」(丹波)
- 第11回河内首領盆踊り



▲ 05年11月19日台湾へ木材コンテナ積込

▲ 05年12月23日兵庫商会引越にて食事提供

◆ 05年8月～11月 ◆

出石市民農園支援活動は、一年目でありながら多くの収穫物に恵まれ、まち・コミ事務所でご近所の方にご購入いただくことで応援していただき、また、大阪十三フレンドリー商店街の空き店舗前等、販売にも多くの方のご協力をいただきました。

2004年夏に解体した大飯町の古民家の部材を、11月にコンテナに積み込み、税関を通して、船で台湾の淡水鎮へ送りました。神戸税関が発行している情報誌「神戸港ニュース」でも、台湾への古民家移築事業のことを紹介していただきました。

おかげさまでJICAの研修で、御蔵地区を訪れてくださることが多くなり、海外の方と交流する機会が増えました。古民家集会所を使用して研修を行うと、畳や障子に興味を持たれる方が多く、日本の文化に触れていただく機会にもなっています。

12月には、株式会社兵庫商会の新社屋が完成し、引越お祝いと日頃のお礼の気持ちで、住民有志が焼きそばやカレーを作り、社員さん達に食べていただきました。

◆ 05年12月～06年2月 ◆

大阪府東大阪市の若江岩田地区での、まちづくり会所(国土交通省補助事業)には、地元の近畿大学小島孜教授にご協力いただき、学生さんが町への提案を、模型や模造紙にまとめて発表していただくなど、初めての御蔵以外の地での現場常駐事務所で、まち・コミにできることを模索しながら活動していきました。

区画整理事業が行われた御菅西地区(御蔵通5・6丁目)では、2005年3月に区画整理事業が終わり、4月から神戸市所有の土地の販売が始まりました。地域外に出ざる得なかった方や、減歩により土地を減少された方が購入しようと考えていました。ところが売り出されるのを待っていた土地が、他の13区画と共にまとめて販売され、「一括販売では不動産業者しか買えず、不公平だ。」と、御蔵通5・6丁目町づくり協議会の田中保三会長が神戸市に監査請求を起し、受理されなかったものの入札が中止となり、地元住民にも意向を聞き再入札されることになりました。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|---|---|---|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 6 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 12 | | |
| / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 12 | 13 | 15 | 18 | 19 | 18 | 24 | 27 | 4 | 15 | 25 | 16 | 16 | 25 | 1 | 8 | 8 | 12 | 24 | 28 | 29 | 30 | 9 | 17 | 19 | 19 | 9 | 20 | 26 | 29 | 13 | 14 | 26 | 28 | 28 | 4 |

- まちづくり協議会臨時総会（解散）
- 出石市民農園起工式
- JICA中米視察受入
- 第7回百聞くらぶ（丹下セツ子さん）
- インドネシアNGO研修受入
- 神戸市ソーシャルベンチャーアワード表彰式
- 唱歌の会
- 自治会臨時総会
- まち・コミ集い（in関東）
- 大久保河内音頭へそばめし隊交流
- 早稲田へそばめし隊交流
- 修学旅行受入れ秋開始
- JICAインドネシア研修受入
- 第6回御蔵百聞くらぶ（山田修三氏）講演
- 東京都立世田谷北沢小学校「防災まちづくり」
- JICAトルコ市長連合会研修受入
- 芝浦工業大学受入
- 和歌山県広小学校講演「避難所での暮らし方」
- まちワークグループ早稲田学生受入（26）
- 子供盆踊り自治会
- 韓国小中学生震災学習受入
- 第12回河内音頭盆踊り大会
- 専修大学大矢根研究室調査受入（3）
- JICA中国研修受入
- 第5回御蔵百聞くらぶ（中井久夫氏）
- 丸亀市研修受入
- 自治会・まち協総会
- 全国私立保育園震災研修受入
- 唱歌の会
- 大阪ボランティア協会BOLLO取材受入
- 長岡第二中学校講演
- 修学旅行受入れ今年度春開始
- 第17回御蔵学校・阪神・淡路大震災11年まちの復興を見て、そしてこれからできること」
- 御蔵で調査論文学生の地域住民への発表会
- CODE研修受入
- 豊浦中2年生修学旅行受入
- 第4回御蔵百聞くらぶ（もず唱平さん）



▲06年8月3日専修大生による御蔵調査



▲06年10月9日そばめし隊

◆06年3月～8月◆

夏には、専修大学文学部の大矢根淳教授の授業「社会調査論」の学生たちによる合宿形式の御蔵調査が行われました。学生2人ずつグループになって、震災時の状況や現在の思いなどを、18人に調査をし、報告書にまとめていただきました。この調査は、後輩に受け継ぎながら、10年続けていく予定です。（08年9月号参照）

震災の年から、河内音頭の鉄砲光丸師匠とお仲間のみなさまにお世話になり、毎年楽しませていただいた「河内音頭盆踊り大会」ですが、実行委員会から自治会が離れ、町づくり協議会による「河内音頭盆踊り大会」と自治会による「子ども盆踊り大会」が、別の日程で行われ開催しにくくなりました。犠牲者の慰霊と被災者への励ましを込めて、本場の河内から遠路はるばるお越しいただき、生演奏で踊れることができるという機会を作ってくださいましたことに、感謝いたします。（03年8月号p7参照）

◆06年9月～12月◆

9月と10月に、御蔵住民有志で、長田名物そばめし屋台を出す「そばめし隊」を再結成し、早稲田大学と新宿区大久保に向かいました。

9月、御蔵通5・6・7丁目町づくり協議会は、阪神・淡路大震災復興基金を活用した「まちのにぎわいづくり一括助成事業」に採択されました。助成金額1000万円という規模の大きさに、一部の地域住民から異議がでてきました。

10月には、御蔵通5・6・7丁目自治会（柴本宏幸会長）の臨時総会が行われ、「今後の御蔵通5・6・7丁目町づくり協議会（田中保三会長）あり方」について議題で話し合いがなされ、解散が可決されました。町づくり協議会は自治会とは別組織のため議題には添いませんが、「地域を割るわけにはいかない」と12月には、10月の自治会臨時総会を受けた形で、町づくり協議会の臨時総会が開かれ、解散を決めました。（経緯について07年2月号参照）

御蔵から見る
世界のまちづくり

台湾

淡水鎮 蔡葉偉 鎮長（市長）ご一行の来訪について

邱 明民 さん

今年7月に台湾台北県にある淡水鎮で行われた古民家贈呈式で、代表としての受人淡水鎮鎮長蔡葉偉さんが役所の役員たち15人を連れて、11月5日に御蔵を訪問した。兵庫商会田中保三社長とまち・コミュニケーション代表の宮定章さんにより、阪神大震災後の御蔵地域の復興進捗状況を説明してもらった。

防災機能の持つ御蔵南公園を通り、古民家移築の集会所に辿り着くと、台湾からの淡水鎮役員たちは、ご立派ですねと褒めながら、建物を背景にして記念写真を撮った。集会所で開かれたまちづくり勉強会で宮西悠司先生、武田則明先生と田中社長が御蔵のまちづくりの話をした。その後、御蔵在住で94歳の徳田フミ子さんが新舞踊（歌謡舞踊）を披露。初めて見た踊りで、しかも高齢のおばあちゃんでもあり、皆さんが感動と興奮の混じり気分となった。出演の終わりに、皆さんは争いながら並んで、おばあちゃんと撮影した。後にコミュニティーのご婦人とボランティアの協力を得て、温もりいっぱいの晩餐会を行った。

台湾へ移築する古民家を再建する土地と費用を提供する台北県淡水鎮は、今回初めて日本の古民家を見て、建物の構造と空間を体験した。ご一行の皆さんにとって、異なる日本の文化や風土を想像し難く、古民家の移築は建物としての認識にとどまり、その創出価値と文化交流の意味を捉えられていなかった。特に過去の戦争の複雑な歴史背景にして、表は仲の良い国際交流だが、心の底には軍閥の植民地の焼き跡が残されているかもしれない。しかし、今回迎えてくれたこんな温かい手に、心の深いところが刺激された。今後の移築作業にきっとプラスになるだろう。



御蔵のまちづくりの話を聞く
淡水鎮鎮長ご一行

確かに御蔵の集会所はこの移築の古民家でなければ、見学しにくる人は少ないだろう。なぜなら、集会所はどこにもあるからだ。建物だけでは空間の話で終わり、人間の心が打たれるような話題がなければ、社会の連動が起こらない。この観点から見て、この集会所は皆の力と汗で完成した「社会的な宝」と言っても過言ではない。

最初、古民家を台湾へ持っていくと言った時、恐らく誰も国を渡ることはこれほど困難だと予想できなかった。まず土地と予算の確保、次は法律規制と大工技術などの問題を克服するのは当たり前だが、考えもなかった政権の交代や台湾ドル為替レートの急落など台湾事情も直面している。今まで時間がかなり掛かったが、当日、鎮長の蔡さんは来年の春に着工と発表した。これを目標にして実行の最前線にある台湾チームは常に綿密な情報交換を行い、慎重に進んでいる。来年の春、その時は日本の桜の咲く時でもあるだろう。長年の台湾へ古民家移築の願望と期待の花も一緒に咲くように、心からお祈りしている。



徳田フミ子さんの踊りに、みなさん大喜びでした

報告：修学旅行への震災学習

10月26日
浦野正樹先生を講師に招いて
研修会を行いました

早稲田大学文学部教授の浦野正樹先生に講師を依頼し、震災体験の語り部さんの研修会を開きました。御蔵地区から9人の参加者があり、アットホームな雰囲気での研修会となりました。

浦野先生から、防災、雲仙普賢岳の復興過程や早稲田のまちづくりについてなど、幅広いお話がありました。震災体験を語り伝えていくことについて「災害が起こると自分の地域が大変なことになることを、想像し実感することが防災のスタート」であること、「子どもに伝えることで、その親にも震災体験を伝えることができる」こと、語り伝える上で「最初はとつとつと話していた人が能弁になってくると、説得力がなくなってきた、解説者のようになりがちである」という問題点などのお話がありました。

「リアリティを持って防災の大切さを伝えることができるのは、語り部のみなさんだけです」と、今後の励みになるメッセージをいただきました。予定時間を大きく超え、2時間半に渡ってのお話しとなりました。

大地のつぶやき

〈 超資本主義の到来かII 〉

不可解と書いた先月号にさらにおまけがついてきた。それはディーラー系仕入れ先で神戸マツダ(株)と、いすゞ近畿(株)も同様に保証金を積む様催促して来た。ホンダとの交渉では本多宗一郎、藤沢武夫両御大の「人間は相手の立場に立って考え合うべきだ」「たいまつは自分の手で持つ」の語録は私の精神的糧となっているが如何にと論争する。そして一応先送りとなった。トヨタ共販(株)に対しても石田退三氏の「商売はあくまでも川下が第一である」「大が小をいじめてどうする」と論じ、その裏に「自分の城は自分で守れ」の気概を肝に銘じている旨伝え、先送りとなっている。しかしいすゞ近畿(株)は従来月の月末締め翌二十五日払い三カ月の手形を、月末締め翌十日払いを回答するも、尚一カ月分の七十%現金を担保させると重役自ら来訪あり、迫られたが物別れとなっている。神戸マツダ(株)からはその後返事がない。

行き過ぎた競争主義、市場主義がもたらしたものは市場の停滞感、衰退感か閉塞感しか生まない。担保保証金は定期預金に入れられ塩漬け、自衛本能が働きどうしても後ろ向きになっているのをリーダーは自覚出来ないのだろうか。異口同音に「我々サラリーマンは会社からの命に従わねばならぬ」と。組織の中にいる多くの人々は組織が間違っているとしてもそれに異を称えることが出来ないでいる。押し問答はこれからもなお続くであろう。この低迷からどう脱却するのか、命懸けで考えねば社員とその家族を養えない。

震災十四年目を迎えるようとしている。あの時、もう自分一人の幸福を求める時代は終わった。他の人が幸福でなくてどうして自分が幸福を感得しうるだろうかと全身で覚ったのではなかったか。アイシシユタインは七十余年前に「あゝ、悲しい哉、エゴと競争心は義務感や公共心より強い」と嘆いた。人間の叡智を期待して止まない。

株式会社兵庫商会 田中保三

まち・コミ活動報告

10/1 ~ 10/31

- | | | |
|---------------------------|----------------------------------|--------------------|
| 10/3 共生会(愛知県の建築関係者の会)研修受入 | 10/17 四川省劉世慶先生研修受入 | 10/28 末正氏と打ち合わせ |
| 10/4 彦根大東町自治会講演(田中) | 10/18 出石、黒豆の枝豆収穫 | 10/30 まち・コミスタッフ打合せ |
| 10/13 ドイツ建築・都市計画家研修受入 | 10/19 出石収穫祭 | 10/30 滑川総合高校震災学習受入 |
| 10/16 内灘町立内灘中学校震災学習下見受入 | 10/19 ~ 21 黒豆豆ぼりと袋詰め作業 | 10/30 中国語勉強会 |
| 10/17 まち・コミスタッフ打合せ | 10/23 まち・コミスタッフ打合せ | |
| | 10/26 修学旅行語り部研修会(講師:早稲田大学浦野正樹先生) | |

ご支援、ありがとうございます。

10/1 ~ 10/31

賛助会員(新規・継続)

酒井勇(大阪府) 平山京子(兵庫県) 安田真明(兵庫県) 山下憲子(兵庫県) 平井太郎(神奈川県)
 田久保和弘(千葉県) 越山健治(兵庫県) 田中松代(福岡県) 播本高志(兵庫県) 大久保裕晴(大阪府)
 渋谷光延(兵庫県) 櫻井朝教(長野県) 上田耕蔵(兵庫県) 清水紀男(兵庫県) 小野宗幸(神奈川県)
 関西キリンビバレッジサービス株式会社神戸営業所(兵庫県) 縄田房照(福岡県) 野崎隆一(兵庫県)
 首都圏総合計画研究所(東京都) 山田和生(兵庫県) 河上牧子(東京都) 高井秀樹(兵庫県)

協力

社団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県) 【順不同・敬称略】

新規賛助会員募集&更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、賛助会員を募集し、金銭面でのご支援をいただいています。会費は、事業推進のために活用させていただきます。賛助会員のみなさまには、会員特典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただきます。現在賛助会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は、「月刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名の下に記載していますので、ご確認ください。)

会員特典

本誌「月刊まち・コミ」の送付。

まち・コミュニケーションに関する、Eメールでの情報送付、WEBの特別ページの参照

よろしくおねがいいたします。

編集後記 まち・コミ事務所では、ヒモに吊して乾かしている「ほしずいき」が風に揺られています。ご近所の方々がすじ取り作業を頑張ってくださいました。(戸)

年会費

個人・法人 年間5000円
 学生 年間3000円

郵便振替口座番号

00950-3-42788

口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2008年12月1日発行

編集/発行 まち・コミュニケーション

定価 100円

御蔵事務所 〒653-0014

神戸市長田区御蔵通5-5

TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961

東京事務所 〒162-0052

東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部浦野研究室内

神奈川事務所 〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1

専修大学文学部大矢根研究室内

e-mail m-comi@bj.wakwak.com

URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/